株式会社イトーキ
（コード：7972　東証プライム）
2025 年 12 月 19 日

イトーキ、農林水産省と「建築物木材利用促進協定」を締結

-国産材を今後 5 年間で 3,250 ㎥利用、
オフィス空間の木質化で人的資本経営に基づく環境づくりを支援。
Japan Wood Label および Wood Carbon Label 使用承認を取得し、
国産材活用と木材への炭素固定の「見える化」を推進-

株式会社イトーキ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：湊　宏司）は、このたび農林水産省と「建築物木材利用促進協定」を締結しました。本協定により、オフィス空間や内装・家具をはじめとする設計・建築物において、国産材の利用拡大と、持続可能な森林資源の循環利用を推進していきます。

協定に基づきイトーキは、自社で設計・施工を手掛ける非住宅空間の内装木質化において原則、国産材を利用し、国産材の利用量を過去 5 年間の計 726 ㎥から、今後 5 年間で計 3,250 ㎥まで増やします。

協定締結の背景

近年、カーボンニュートラルや循環型社会の実現に向けて、国産材の活用を促す動きが強まっています。特に建築分野においては、木造化・木質化を推進することで、炭素の木材への固定化や森林資源の適切な管理につながることが期待されています。また、企業には「人的資本経営」に基づく、社員の生産性・創造性・健康を支える環境づくりが求められています。

イトーキにおいては、これまでオフィス空間や施設内装への木材活用を進めており、働く人のウェルビーイング向上、生産性向上、空間価値の向上に寄与してまいりました。このたびの協定締結により、森林資源の循環と働く人の価値向上という 2 つの重要なテーマを両立し、より高いレベルでお客様に価値を提供できるよう強化していきます。

協定の主な内容

- イトーキは、設計・施工を手掛ける非住宅空間の内装木質化において原則、国産材を利用することとし、国産材利用量を 2021～2025 年の計 726 ㎥から、2026～2030 年の 5 年間で計 3,250 ㎥まで増やす。
- イトーキが設計・施工を手掛ける内装木質化の際には、机・椅子・テーブルや収納棚などの家具や什器についても積極的に木材を利用する。

- イトーキが設計・施工を手掛ける内装木質化に利用する木材については、生物多様性の保全に配慮した林業・木材産業の持続的かつ健全な発展に貢献するため、合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律に基づく合法性確認木材等を利用する。
- 農林水産省は、イトーキに対して技術的助言や活用可能な補助事業等の情報提供を行うとともに、意見交換や木材利用に関する相談窓口・専門家の紹介などを行う。

協定の有効期間

2025 年 12 月 18 日から 2030 年 12 月 31 日まで



イトーキ本社で開かれた協定締結お披露目式。
右から、農林水産副大臣・根本　幸典氏、イトーキ代表取締役社長・湊　宏司

国産材利用に関するイトーキの取り組み

イトーキは 2010 年に国産材活用ソリューション「Econifa」を立ち上げ、自治体や森林組合・素材加工・家具製造事業者と連携しながら、樹種を問わず木材の選定からデザイン・設計・製作・納品まで一貫して対応できるノウハウとネットワークを構築し、培ってきました。近年は、国産材家具の開発にとどまらず、木質化されたオフィスで働くことが生産性や心理・生理面に与える影響を大学・研究機関と共同で実証実験を実施し、ストレスの軽減や心理的快適性、調湿効果などの傾向があることを確認しています。

これらの知見は、働く人のパフォーマンス向上やエンゲージメント向上につながり、企業の人的資本経営を支える基盤にもなると考えています。イトーキは今後も、国産材活用と科学的な実証実験に基づく空間価値の創造を通じ、持続的な経営とウェルビーイング向上に貢献していきます。

Econifa について詳しくはこちら：https://www.itoki.jp/special/econifa/index.html



Japan Wood Label および Wood Carbon Label 使用承認を取得

イトーキはこのほど、一般社団法人日本ウッドデザイン協会（JWDA）が運用する、Japan Wood Label（JWL）および Wood Carbon Label（WCL）の使用承認を取得しました。JWL は国産材活用を示すラベル、WCL は木材による炭素固定量を可視化するラベルで、いずれも木材利用の価値向上と環境配慮型社会の実現を目的としています。

当社はこれを機に、対象の家具に認証マークを表示し、Econifa を通じた国産材活用とカーボンストックの「見える化」を進め、環境にやさしい持続可能なオフィス空間・家具づくりを強化してまいります。

Japan Wood Label および Wood Carbon Label について詳しくはこちら：https://www.jwda.or.jp/label/

Japan Wood Label(左)と Wood Carbon Label(右)のロゴマーク



vertebra03 WOOD



クロッサ WOOD



シルタ

Japan Wood Label および Wood Carbon Label が対象になるイトーキ製品の例

関連プレスリリース

柴田文江氏デザインの vertebra03 のシリーズから、木の温もりあるチェア「vertebra03 WOOD」、居場所を制限しないポータブルバッテリー「hako」を 12 月 25 日より順次発売
https://www.itoki.jp/company/news/2023/2311_wood/

イトーキのクロッサ WOOD が「ウッドデザイン賞 2025」の林野庁長官賞を受賞！
https://www.itoki.jp/company/news/2025/2511_wooddesign/

天然素材が生み出す造形美、サステナブルなビッグテーブル「silta(シルタ)」新発売
https://www.itoki.jp/company/news/2021/2112_silta/

【イトーキのワークプレイス事業について】

株式会社イトーキは 1890 年創業。ミッションステートメントに『明日の「働く」を、デザインする。』を掲げ、オフィス家具の製造販売、オフィス空間デザイン、働き方コンサルティング、オフィスデータ分析サービスのほか、在宅ワークや家庭学習用家具、公共施設や物流施設向け機器など、”Tech × Design based on PEOPLE”を強みに、さまざまな「空間」「環境」「場」づくりをサポートしています。

ハイブリッドワークが普及し働く場所や働き方の多様化が進むなか、生産性や創造性を高める空間 DX、最適なオフィス運用を伴走型で支援するコンサルティングサービスなども展開。外部デザイナーやパートナー企業との協業も積極的に行い、これからの新しいワークスタイルとワークプレイスを提案しています。

【本リリースへのお問い合わせ先】
株式会社イトーキ　商品開発本部

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】
株式会社イトーキ　コーポレートコミュニケーション統括部 広報課　西原
TEL : 03-6910-3910　MAIL : itk-pr@itoki.jp

【本件に関する IR のお問い合わせ先】
株式会社イトーキ　コーポレートコミュニケーション統括部 IR･SR 部 木塲
TEL : 03-6910-3910　MAIL : itk-ir@itoki.jp

以上